

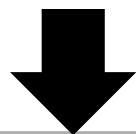
あいがいっぱい愛知小

40分授業午前5時間制について

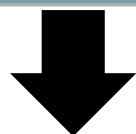


「40分授業午前5時制」町内の動き

R6年度 秦荘西小学校



R7年度 秦荘東小学校



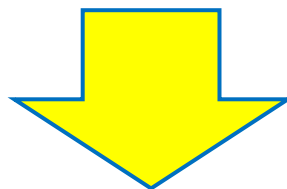
R8年度 愛知川小学校
愛知川東小学校

40分授業午前5時間制

★愛知小の子どもたちの課題（児童質問紙より）



- ・メディアを適切にコントロールする力が必要
- ・規則正しい生活リズムを身に付ける力が必要
- ・自ら進んで学ぶ「主体的な学習力」を育む力が必要



「40分授業午前5時間制」を通して

★愛知小の子どもたちに付けたい力

- ・生活・学習を見直し、「自己調整」する力
- ・主体的（自ら進んで）に学習に取り組む力

学校教育目標

自分も人も大切にする

心豊かでたくましい子

～あいがいっぱい愛知川小を合言葉に～

自分愛・仲間愛・学校愛・地域愛

学習部会

自主勉チャレンジウィーク
ノート展

遡りプリントの活用
タブレットドリルの活用
ICTの活用

学び方を学ぶ

自己調整力
手がかかり

生活部会

自分を知る
アンガーマネジメント
振り返り
整理整頓
帰りの会で引き出しの整頓
次の用意・ベル着
時間の意識
そうじ

自律

特活部会

カロム大会
愛知小まつり
教え隊
色班掃除

→常時活動として動かせるといい？

どの活動も自治的な活動に
していけるようにする。

「40分授業午前5時間制」スタートまで

向角皆香

5月



教員3部会結成
5月7日（水）



6月

保護者説明会
6月4日（水）

教員
研究授業
6月18日（水）

9月

児童へ説明
プレ日課体験1
9月16日（火）
9月17日（水）

教員
研究授業
9月17日（水）

11月

プレ日課体験2
11月10日（月）
～
11月14日（金）

1月

教員
研究授業
1月21日（水）

2月



プレ日課体験3
2月16日（月）
～
2月20日（金）

年間スケジュール

40分授業午前5時間制

従来の日課

8:15	朝学
8:30	朝の会
8:40	1時間目(45)
	2時間目(45)
	中休み
	3時間目(45)
	4時間目(45)
12:10	給食
	昼休み
	そうじ・チャレンジタイム
13:40	5時間目(45)
	6時間目(45)
	帰りの会
15:30	下校完了
	放課後

朝学習を廃止。
授業時間を**15分**
繰り上げ。

40分授業午前5時間制

8:15	朝の会
8:25	1時間目(40)
	2時間目(40)
	3時間目(40)
	中休み
10:55	4時間目(40)
	5時間目(40)
12:20	給食
	昼休み
	そうじ
	短時間学習(20)
14:05	6時間目(40)
	帰りの会
15:00	下校完了
	放課後

学びの午前

活動の午後

授業短縮で生み出した
30分
(短縮5分×6コマ)

「自己調整力」を育成する時間
20分

教師の情報共有の時間
10分

児童理解、授業づくり等
「教育の質」向上のための
情報共有の時間

+10分

+25分

午前4時間制より約**25分間**早く下校

学校行事や研修等で
午後の授業カット

6校時のみをカット

授業時数の確保

午前5時間制の方が
授業時数は多い

+15分

令和8年度 日課表(予定)

朝の会(健康観察)	8:15 ~ 8:25
1校時(40)	8:25 ~ 9:05
2校時(40)	9:10 ~ 9:50
3校時(40)	9:55 ~ 10:35
中休み(15)	10:35 ~ 10:50
4校時(40)	10:55 ~ 11:35
5校時(40)	11:40 ~ 12:20
給食(40)	12:20 ~ 13:00
昼休み(25)	13:00 ~ 13:25
そうじの予鈴	13:25
そうじ(10)	13:30 ~ 13:40
短時間学習(20)	13:45 ~ 14:05
(帰りの会)	14:05 ~ 14:15
6校時(40)	14:05 ~ 14:45
帰りの会	14:45 ~ 14:55
下校時刻	14:20(5校時終了時) 15:00(6校時終了時)

【朝の会】

- 開始時刻はこれまでと同様です。集団登校時刻はこれまでと変わりません。8時頃に着くように出発を考えてください。

【給食】

- 給食開始時刻は、今年度より10分くなります。そのため、しっかりと朝ご飯をとれるよう、ご協力よろしくお願いします。

【短時間学習(愛知小タイム)】=生み出した時間→詳しく説明します。

- 基礎基本(漢字・計算)などの定着を図ります。
- 自分にあった学習方法を考え、取り組めるようにするために、一人ずつプランニングを立てます。そのプランニングをもとに、学習を進めたり、宿題に取り組んだりしていきます。
- eライブラリ(AIドリル)、復習プリント、ドリルを活用しながら、学力の定着を図ります。

【下校時刻】

- 5時間授業…14時20分
- 6時間授業…15時00分
となり、今年度より、25分~30分早まります。

下校時刻について

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	これまで
5校時 14:20下校	1～4年 下校	1～3年 下校	全校下校	1・2年 下校	1・2年 下校	5校時 14:45下校
6校時 15:00下校	5・6年 下校	4～6年 下校		3～6年下校	3～6年下校	6校時 15:30下校

※月曜日はクラブ活動・委員会活動があります。
クラブ活動の時のみ、4年生は6校時下校となります。

下校時刻はこれまでと比べて
25～30分早い時刻となります。

生み出した時間
短時間学習（愛知小タイム）で

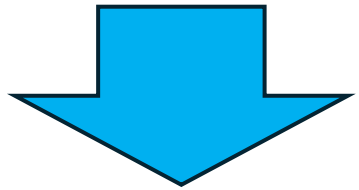


「自己調整力」を
育成する



なぜ「自己調整力」を向上させる必要があるのか

変化が大きな社会・先が読めない社会で生きていく



いかに社会が変化しようと、

自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、
行動し、より良く問題を解決する力

今あるものに「適応する力」(受け身)ではなく、
今ないものに「対応する力」(前向きに受け止める)が必要

✓ 「適応（てきおう）」

● 意味：

環境や状況に自らを合わせること。

内面的・自然的に「慣れていく」『順応する』というニュアンスが強いです。

● 例文：

- 新しい職場環境に**適応**するのは時間がかかる。
- 動物は寒い気候に**適応**して進化してきた。

● キーワード：

環境に慣れる／変化に順応する／自分が合わせる

✓ 「対応（たいおう）」

● 意味：

状況や問題に対して、行動や処置をすること。

外的な問題に対して「対処する」『対応策をとる』という意味合いです。

● 例文：

- トラブルが発生したが、すぐに**対応**した。
- クレームには丁寧に**対応**してください。

● キーワード：

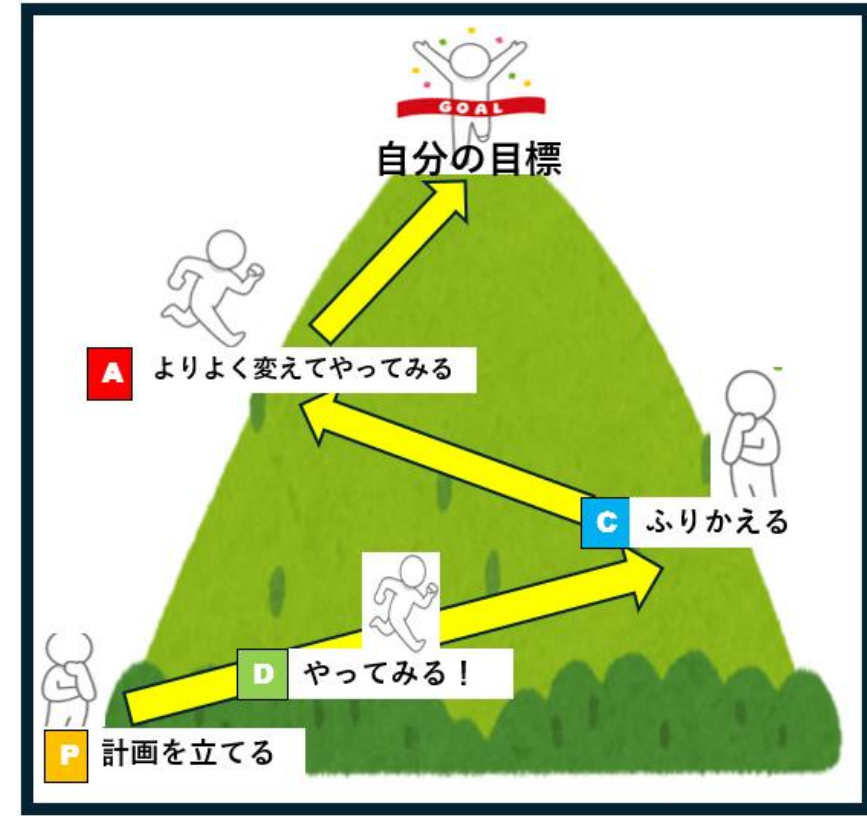
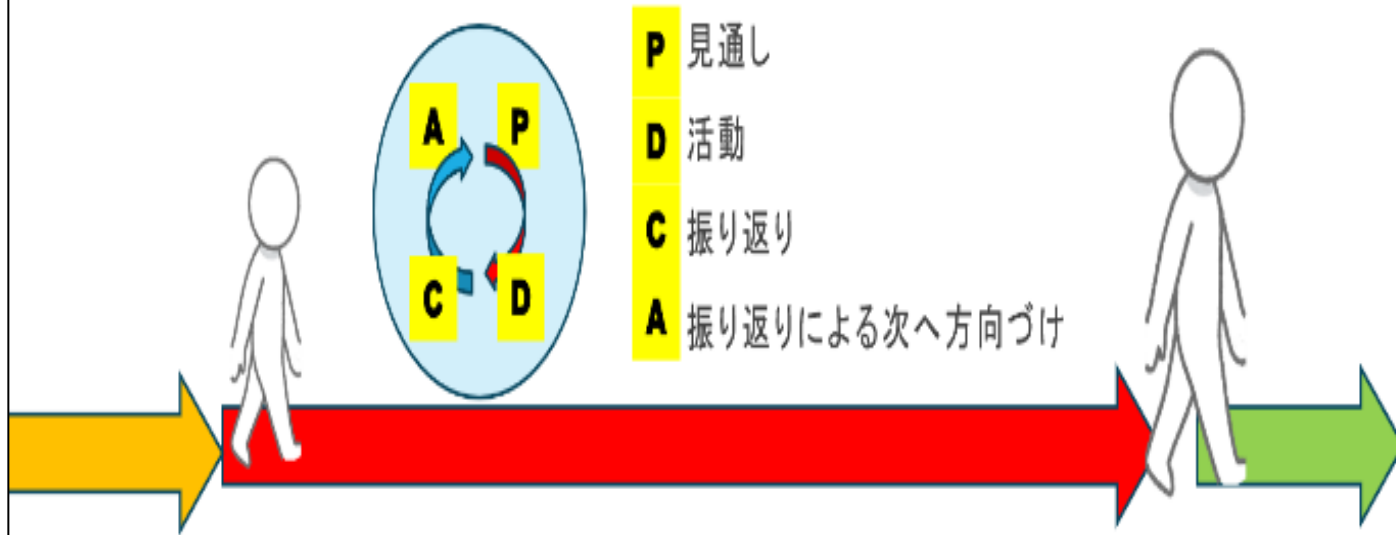
対処する／処理する／反応する

まとめ（比較表）

項目	適応	対応
意味	自分が環境に合うように変わる	問題や相手に対して行動する
主体	自分が変化する	自分が行動する
例	環境・気候・文化への順応	問題・顧客・変化への処置
よく使う相手	自然、環境、人間関係など	クレーム、問題、相手の要求など

「自己調整能力」とは

自己の最適な学びや活動を自力で計画し、
実行し続ける力



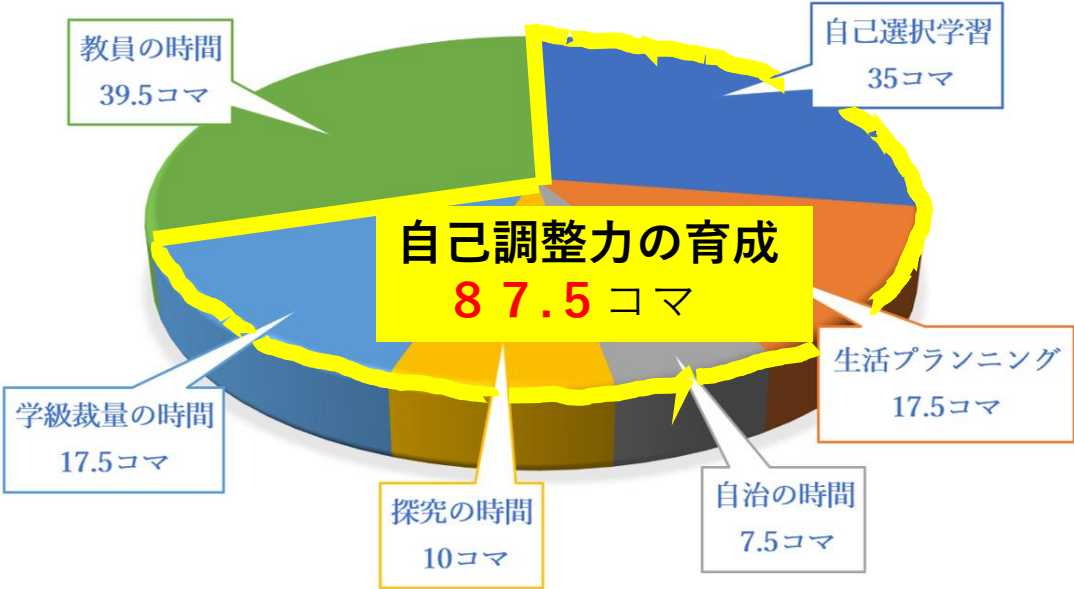
通常の学校 1単位時間：45分	45分×1,015コマ
愛荘町 研究開発学校 1単位時間：40分	40分×1,015コマ

5分×1,015コマ=5,075分

生み出した時間
127コマ



生み出した127コマの活用



	月	火	水	木	金
愛知小タイム (20分学習)	国語 (漢字学習)	自己選択学習	学級裁量の時間	自己選択学習	生活・宿題 プランニング

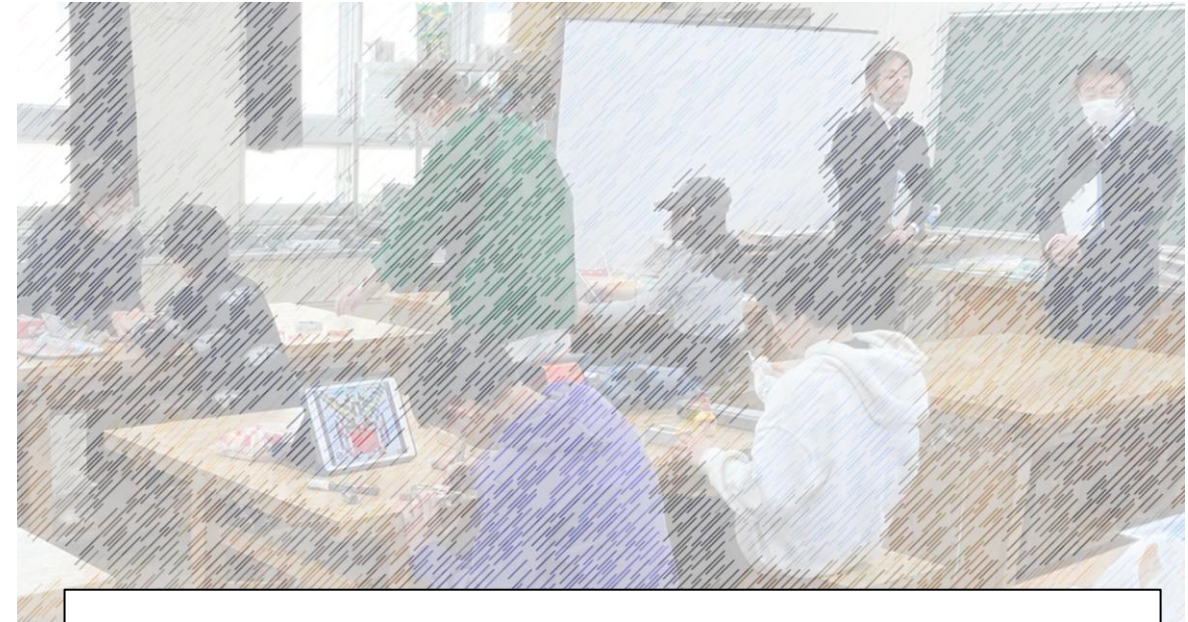


8:15	朝の会
8:25	1時間目 (40)
	2時間目 (40)
	3時間目 (40)
	中休み
10:55	4時間目 (40)
	5時間目 (40)
12:20	給食
	昼休み
	そうじ
	短時間学習 (20)
14:05	6時間目 (40)
	帰りの会
15:00	下校完了
	放課後

生み出した時間で自律的な児童の育成のため、
自己調整力向上の取組を行う。

他校での研修

秦荘西小学校の校内研究に参加



目黒区の小学校へ視察

20年以上も前から「午前5時間制」を採用している

「子どもが自ら学びを進められる」授業をつくるために
校内だけでなく、町内の先生たちとも研修を行う。

保護者のみなさまからいただいたご質問についての回答

ご意見	本校としての回答
40分授業で学力は定着しますか。	「どの部分を5分削減するか」ではなく、「40分間を何をどのように教えるか」に焦点をあて、授業づくりを進めます。そのため、授業前に教えるべき内容をしっかり把握し、児童が内容を理解するために必要な「手がかり」を事前に練ることで、学習の見通しをもたせ、すべての児童が主体的に自力解決へと取り組める授業をめざします。 また、一人ひとりの学習進度・能力・関心等に応じた多様な選択肢を提供することで、児童が自己決定を繰り返しながら主体的な学びを深めていけるようにします。こうした取組は、自己調整力の育成にもつながります。いわゆる「やらされている学習」ではなく、「自ら学ぼうとする力」を伸ばすことこそが、学力向上に結び付くと考えます。さらに、自己調整力は学力の向上のためだけでなく、これからの社会を生きていくうえでも不可欠な力です。自分の目標に向かって計画を立て、試行錯誤しながら学び続ける姿勢は、生涯にわたる学びの基盤となります。 本校では、『学習内容を身につけさせる視点』と『自己調整力を育む視点』の両面から授業を行っています。なお、下校時刻が早まることで、教員が教材研究や授業準備に十分な時間を確保できるようになり、指導力のさらなる向上に努めていきます。
授業内で自己調整力をつけることは可能ですか	
時間をかけていねいに教える授業を進める方が良いのではないのでしょうか。	
自己調整力を育む取組よりも、学力向上に向けた取り組みの方が重要だと思います。	
学習時間が25分短くなるのが心配です。	昼に20分間の「短時間学習」を設定し、基礎的・基本的な知識・技術等の定着を図ります。
宿題の量は増えますか。	これまでと同じように、学年・学習の内容に応じて宿題を提出します。
宿題を1週間単位で提出すると自己調整力が難しい子は宿題を全部できないことになりそうです。	自己調整力を育むために、児童が自分で家庭学習の計画を立てることを検討しています。計画は週に1回の「えちしょうタイム」の時間に立てる予定です。家庭学習の計画を自分で立てることに苦手意識をもつ児童には、教師と一緒に考えながら計画を立てて支援します。 また、宿題をすべてこなすことが難しい児童には、「どうすればできるようになるか」を一緒に考え、週の中頃の段階で声をかけて進捗状況を確認しながら、必要に応じて一緒に取り組みます。
家庭で学習するか心配です。	
家庭ではどのようにすればよいですか。	子どもたちが複雑で予測困難な社会を生きぬく力をつけるために、学校、家庭、地域社会がともに子どもたちを育てていくという視点が必要となってきます。一緒に読書をする、時間のある時に宿題を見る、自己調整を発揮している姿が少しでも見られたら認めるなど、子どもと関わる時間を持っていただけるとありがたいです。